

「 一人一人が輝く行事に向けて 」
～ これからのクラスの行動目標 ～

本題材で育成する資質・能力

(学校) 表現力, コミュニケーション能力, 主体性

- 1 日時 令和3年9月21日 12:55～13:45
- 2 学年 第3学年3組 (男子15名 女子16名 合計31名)
- 3 場所 本館3F 3年3組教室
- 4 単元について

○ 題材観

本題材は、学習指導要領特別活動〔学級活動〕内容(1)「学級や学校における生活づくりへの参画」のウ「学校における多様な集団の生活の向上」にかかわるものである。

学校行事を通じて向上したリーダーとしての自覚や集団活動を、毎日の学校生活に置き換えて生活するには、クラスで課題をさぐり目標を見いだす必要がある。そのため、生徒の興味関心が高い学校行事を通じて、互いの良さを認め合いながら、より具体的に目標を設定し、次のステージへの成長、ゴールに向けての自分たちのありかたという「本質的な問い」につなげていきたい。この「本質的な問い」を生徒と一緒に1年かけて考えるために本題材を設定した。

○ 生徒観

本学級の生徒は、元気が良く授業や行事では、活発に取り組んでいる。学年全体での「ええじゃん」の取り組みでは、リーダーが主体的に活動し、自分たちで課題を解決しながら取り組み、「達成感」や「一体感」を感じることができた。しかし一方で、熱しやすく冷めやすいところもあり、「ええじゃん」で学んだことを自分たちの学校生活に置き換えて考えることが苦手な場面が見受けられる。

このことから、本題材における学級活動では、赤船祭や今後の学校生活まで広い視点でをどのようなことが必要か考え、合意形成を図りながら、実践する方法を設定、取組、検証、改善していきたい。

○ 指導観

指導に当たっては、昨年度から学校全体で行ってきた合意形成能力を重視した「話し合い」活動を行う。「話し合い」活動は、議長、副議長、書記2名から構成される議長団を結成し、生徒主体で行うものである。「話し合い」活動を通じて、3年生の学年としての長所、短所に気づき、その上で、生徒一人一人に、自己の個性を見つめさせる。生徒一人一人が、これからチャレンジする受験、そして中学校生活の最後を飾る卒業式に向け、どのように自己の課題に取り組んでいくか、考えを深めさせる。話し合いを通し、相手の意見を聞いて、自分の考えを広げたり、課題について多面的・多角的に考えたりして自分に合った解決方法を自分で決める意思決定を行うようにさせたい。

このように、クラスでの実態把握、目標設定、取組、検証、改善というマネジメントサイクルを回して学級づくりを進めていき、自分の考えを積極的に伝え合う話し合い活動を通して合意形成や意思決定を行うことのできる生徒の育成を図りたい。

行事のみならず、この先「何ができるか・何をしなければならないか」を考えさせる、視野を広げた「話し合い」活動を行っていきたい。

5 学校が育成を目指す資質・能力

本校が教育課程全体を通じて育成を目指す資質・能力は、「表現力、コミュニケーション能力、主体性」である。この目指す資質・能力を育成するためには、各教科・領域等の授業における「展開場面」において、生徒が主体的に活動している時間の質と量を高めることが重要である。更に、生徒が主体的に活動するためには、「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」が不可欠であると考え、研究を重ねている。

本題材においても、本校では「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」を行い、少人数班で考えを何度も練り直させ、思考したことをミニホワイトボードに表現した後全体へ発表させるスタイルをとっている。

資質・能力	知識・スキル			意欲・態度	
	授業の展開の場面で (ミニホワイトボード等を使用して)	表現力・コミュニケーション能力			主体性
レベル1		(話す speak) ○自分の考えや意見を、自分のことばで表現することができる。	(聞く) ○相づちを打ちながら、途中で口をはさまず、きくことができる。	(やりとり) ○話を聞いて質問することができる。	○課題に対して、自分の考えを持ち、取り組もうとしている。
レベル2		(話す tell) ○自分の考えや意見を根拠を挙げて、相手を意識しながら、適切な方法で表現することができる。	(聴く) ○相手の話の組み立てや構造を考え、話の意図や要点を整理しながらきくことができる。	(やりとり) ○話を聞いて、内容を深めるために質問ができる。	○課題に対して、自分の考えを持ち、自ら進んで取り組もうとしている。
レベル3		(話す talk) ○自分の考えや意見を、根拠を挙げて分かりやすくまとめ、目的や場に応じて、適切な方法で論理的に表現することができる。	(訊く) ○相手の考えについて、根拠の信頼性を判断しながらきき、話された内容と自分の意見をふまえて共通点や疑問点を明確にし、相手にたずねることができる。	(やりとり) ○話を聞いて質問をした後に、自分の意見を述べ、内容をさらに深めることができる。	○自ら課題を見つけ、自分の考えを持ち、よりよい方法を選択し、自ら進んで取り組もうとしている。
レベル4		自らが司会をして、少数意見を尊重しながら、臨機応変に対応し、話し合い活動ができる。			

6 単元目標

○生徒会など学級の枠を超えた多様な集団における活動や学校行事を通して学校生活の向上を図るため、学級としての提案や取組を話し合うことができる。

7 評価規準

知識及び技能 (何をしているか、何ができるか)	思考力、判断力、表現力等 (知っていること、できることをどう使うか)	学びに向かう力、人間性等 (どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか)
学級生活の向上や諸問題の解決に関心をもち、行事や進路実現へ向けた活動に自主的、自立的に取り組もうとしている。	学級の一員として自己の役割と責任をもち、諸問題の解決に向けて多様な意見を生かし合い、その方法を考え、判断し、互いに信頼し合って実践している。	行事を成功させる意義やそれに向けて学級で取り組むことの意義、進路実現等の諸問題の解決方法について理解している。

8 展開の過程

単元を貫く問い（探求課題の萌芽）：行事や学校生活を通して、何を学ぶか、どのようになりたいか。

過程	活動の場	活動の内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価方法
課題の設定	話し合い活動 (学級全員)	・結団式をもとに、赤船祭やサバプロを通してどう輝きたいか？	・行事だけでなく、広い視点で考えるようにする。	・話し合い活動が深まるよう自主的、自立的に準備を進めようとしている。(知・技) 【観察・ワークシート】
目標設定	話し合い活動 (学級全員) 【本時】	・「一人一人が輝く行事にしていけるために、何ができるか、何をしなければならないか」という議題のもと、2学期の活動で自分達はどう行動していくかを考える。	・日比崎中学校のこれまでの先輩達から受け継いだものや、自分達の良さ(新しい伝統)、次の世代にも伝えたいことを意識させるようにする。	・学級生活の向上や諸問題の解決に関心を持ち、行事へ向けた活動に自主的、自立的に取り組もうとしている。(知・技) 【観察・ジャムボード】
実践	赤船祭 (学級全員)	・赤船祭本番 ・サバプロ活動	・3年生として、後輩から憧れられるような姿を見せることを意識させるようにする。	・学級の一員として自己の役割と責任をもち、諸問題の解決に向けて多様な意見を生かし合い、その方法を考え、判断し、互いに信頼し合って実践している。(思・判・表)【観察】
振り返り	話し合い活動 (学級全員)	・行事を通して得たもの、課題について考える。 ・赤船祭・サバプロを終えて、実際にやってみてどうだったのか、自分達の成長を確認する。	・生徒の活躍について、具体例を示して賞賛する。 ・成果と課題を具体的に記入するよう助言する。	行事を成功させる意義やそれに向けて学級で取り組むことの意義、進路実現等の諸問題の解決方法について理解している。(学び・人間性) 【観察・ジャムボード】
今後に向けて	話し合い活動 (学級全員)	・身についた力は今後どのようなところで大切になるか・使っていきたいかを考える。	・長い先を見た広い視点で考えるようにする。	行事を成功させる意義やそれに向けて学級で取り組むことの意義、進路実現等の諸問題の解決方法について理解している。(学び・人間性) 【観察・ジャムボード】

単元を貫く問いの終結：身についた力は今後どのようなところで大切になるか・使っていきたいか

9 本時の展開

(1) 本時の目標

議題「一人一人が輝く行事にしていくために、何ができるか・何をしなければならないのか」

(2) 本時の評価規準

- ・学級生活の向上や諸問題の解決に関心を持ち、文化祭へ向けた活動に自主的、自立的に取り組もうとしている。

(3) 準備物 ・TV・クロムブック

(4) 学習の流れ

	学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 ★資質・能力 (評価方法)
	1 始めの言葉 (副議長) 2 前回の振り返り		
活動の開始	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; margin-right: 5px; color: red; font-weight: bold;">単元を貫く問い</div> <div> <p>結団式をもとに、赤船祭やサバプロを通してどう輝きたいか？</p> <p>単元を貫く問い (探究課題の萌芽) : 行事や学校生活を通して、何を学ぶか、どのようになりたいか。</p> </div> </div> </div>		
	3 議題の発表・確認 (議長) 提案理由の説明 (議長)		
<p>提案理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いよいよ赤船祭・サバプロが動き出します。みんなが輝き、一人一人が成長するためには、今までの取り組みや日比中での伝統、先輩の姿など、いろいろな人の気持ちや姿を考えなくてははいけません。一人一人が輝くために、私たちはどう行動するのか、いろいろな人の気持ちを考え、クラスの目標を考えましょう。 			

<p style="text-align: center;">ICTの活用</p> <p style="text-align: center;">活動の展開</p> <p style="text-align: center;">思考を深めよう</p>	<p>4 話し合い活動</p> <p>前回の話し合い活動の内容を受けて、小グループや学級全体での話し合いを通して「一人一人が輝く行事にしていくために、何ができるか・何をしなければならないのか」を追求する。</p> <p>(議長団で進める。議長団は話し合いに参加せず、全体の様子を見る。必要な場合は、担任と打ち合わせ。)</p> <p><u>(1) 出し合う (10分)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人の考えをジャムボードに記入しながら、班で意見交流をする。 <p><u>(2) わかり合う (5分)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジャムボードに書いたことを他の班に説明する。 <p><u>(3) 比べ合う (10分)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分達の班と同じ意見を見つけたり、異なる意見や疑問に思ったことに対して質問するなどジャムボードに書いてあることに対して、理解を深める。 <p><u>(4) まとめ合う (15分)</u></p> <p>話し合い活動で共有化された解決の方向性等を参考にして自分としての解決方法等を「合意形成」する。</p>	<p>◇必要に応じて、積極的に助言を与える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学級生活の向上や諸問題の解決に関心を持ち、行事へ向けた活動に自主的、自立的に取り組もうとしている。 <p>(知・技)</p> <p>【観察・ジャムボード】</p>
<p style="text-align: center;">活動のまとめ</p>	<p>6, 決定事項の確認 (副議長)</p> <p>7, 自己評価・感想記入 (5分)</p> <p>8, 教師の話</p> <p>9, 終わりの言葉 (議長)</p>	<p>◇話し合いの流れを方向付けた発言や議長団の活動などを賞賛するとともに、実践へ向けて活動意欲を高めることができるように助言する。</p>	

(5) 話し合い活動での観察による評価のルーブリック

	レベル			
	1	2	3	4
つかむ	○自己の問題の状況や原因を把握できない。	○自己の問題の状況や原因を把握できている。	○キーワードをもとに、自己の問題の状況や原因を把握できている。	○キーワードをもとに、自己の実態に照らし合わせながら、問題の状況や原因を把握できている。
さぐる	○話し合い活動に意義を見出さない。	○ワークシートに書いてはいるが、発言しない。指名されて言う。	○自分の意見を理由と共にきちんと発言できる。	○自己の実態に照らし合わせて意見が言える。
みつける	○学級の意見に反応しない。	○学級の意見に反応する。 ○理由を述べることは難しいが、賛成や反対の意思を表示できる。	○学級の意見と自分の意見を比べながら、賛成意見や反対意見を言える。	○学級の意見と自己の意見を比べながら、理由を明確にして、賛成意見や反対意見を言える。 ○学級の意見を聞きながら、自己の考えを再検討できる。
きめる	○目標、解決方法を自己決定できない。	○目標、解決方法を自己決定できる。	○話し合いをもとに、目標、解決方法を自己決定する。	○話し合いをもとに、少数意見や弱者の意欲も考慮しながら、自己決定を試みている。

(6) 板書計画

<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl;">まとめ合う</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl;">比べ合う</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl;">分かり合う</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl;">出し合う</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl;">提案理由</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl;">議題</div> </div>
